

グアナカステ地熱開発セクターローン【コスタリカ】

施策所管局課 国別開発協力第二課

評価年月日 令和6年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	コスタリカ共和国
(2) 案件名	グアナカステ地熱開発セクターローン
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	コスタリカ北西部グアナカステ県に複数の地熱発電所を建設し、再生可能エネルギーによる電力供給を増強するとともに気候変動の影響緩和を図り、もって同国の持続的な経済発展に寄与するものである。 案件の内容 ・ 地熱発電所建設 ・ コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：平成25年11月19日 イ 供与限度額：560.86億円 ウ 金利：0.6%（コンサルティング・サービスについては0.01%） エ 償還（据置）期間：40年（10年） オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初、年平均2.8%の電力需要の伸びが予想されており、雨季の降水量に左右されずに安定的な電力供給が可能となる電源として、水力に次ぐ国内第二の再生可能エネルギーである地熱発電のニーズがあった。 電力省エネ化が進んだこと等を背景に電力需要の伸びは当初計画より緩やかになっているものの、現在においても2022～30年まで年平均2.0%程度の伸び率が予測されている。同国は国内発電量の75%を水力発電が占めており（2021年）、気候変動を背景に年間降水量が安定しない状況下、より安定的な電力供給が可能な地熱発電所建設を行う本事業への社会的ニーズが引き続き認められる。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 (1) グアナカステ地熱開発セクターローン（ラス・パイラス2）（平成26年借款契約締結）

	本事業計画当初の予定より早く 2019 年 7 月に完了済み。 (2) グアナカステ地熱開発セクターローン(ボリンケン I) (平成 29 年借款契約締結) 2019 年に改めて電力需要調査を実施したところ、2016 年の審査時と比較して国内の電力省エネ化等が進み、電力需要は引き続き伸びているものの伸び率が緩やかになっていることが確認された。これを受け、本事業による追加容量が必要となるタイミングに合わせるべく、本事業の完工時期が当初予定より 2 年後ろ倒しとなった。加えて資機材費の高騰等により発電機・タービンに係る入札が難航し、事業の更なる遅延が生じているものの、案件は進捗中で 2029 年の完了を想定している。 (3) グアナカステ地熱開発セクターローン(ボリンケン II) (借款契約未締結) 2019 年の電力需要のデータを踏まえて当初計画を後ろ倒し、2026 年 8 月までの借款契約締結を目指して調整中。
(2) 今後の対応方針	(1) グアナカステ地熱開発セクターローン(ラス・パイラス 2) 事業は予定どおり完了している (完工済)。 (2) グアナカステ地熱開発セクターローン(ボリンケン I) 本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、当初予定どおりの効果が見込まれることから、資機材の高騰への対応をフォローしつつ、支援を継続する。 (3) グアナカステ地熱開発セクターローン(ボリンケン II) (借款契約未締結) 本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、当初予定通りの効果が見込まれることから、本事業の実施機関であるコスタリカ電力公社が自己資金で対応中の補完調査の進捗をフォローしつつ、支援を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 政策評価法に基づく事前評価書 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 (ラス・パイラス II) ・ 国際協力機構の事業事前評価表 (ボリンケン I) ・ そのほか国際協力機構から提出された資料